

本会議から付託された議案5件を審査するため、12月14日に総務文教委員会を開催しました。

議案第59号 総社市職員給与条例等の一部改正について

～内容～

現下の社会情勢を踏まえ、人事院勧告の趣旨を尊重し、本市職員の給与の改正を行おうとするもの。

～結果～

次のような審査の結果、起立多数により**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：今回の改正に該当する職員の範囲はどうか。

答：40歳代以上ということで、主任級の一部から該当するようになる。管理職については、概ね全職員が該当する。

**問：今回、改正を行わなければ、どうなるのか。
また、県内他市の状況はどうか。**

答：具体的にどうなるかは分からない。

給料表については県内他市も人事院勧告に準じた改正を行っているが、新見市は否決ということになった。津山市は、人事院勧告に準じたものではないが、何らかの給与表の改正を考えており、検討段階ということである。

～討論～

反対

国が人事院勧告を実施していない。職員の数が減って、仕事の量が増えている中、給与まで減額すると職員の士気が上がらない。現状維持が良い。

賛成

経常収支比率が県下最悪であるのに、職員給与を減額しないということでは、市民の賛同は得られない。現在の市の財政状況を考慮すると、賛成せざるを得ない。

議案第 60 号 総社市土地開発基金条例の一部改正について

～内容～

追加して積み立てた額に相当する額の範囲内で基金の一部を処分することができるよう、関係条文の整備を行おうとするもの。

～結果～

特に質疑，討論もなく，全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第 61 号 総社市スポーツセンター等 体育施設指定管理者の指定について

～内容～

スポーツセンター，総社北公園陸上競技場，武道館，山手スポーツ広場，高梁川河川敷グラウンドの計 5 施設の指定管理者にコナミスポーツ&ライフ・日本管財グループを指定しようとするもの。

～結果～

次のような審査の結果，全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：前回の指定の期間は 3 年であったが，今回は 5 年である。指定の期間が変更になった理由はなぜか。
また，支出額の見込みはどうか。

答：体育施設の指定管理が初めてであったので，行政側の都合で前回は 3 年としていたが，指定管理者制度を導入している他の施設を参考に，今回は 5 年とした。
年 8,460 万円である。

問：指定管理に出した後の指定管理者の点数評価を行っているか。
また，評価が良好で，指定の期間が終了した場合は，どのような方法で指定を行うのか。

答：公募の審査時に選定委員会で点数評価を行っているが，指定管理に出した後の点数評価は行っていない。今後は，毎年，選定委員会を開催し，1 年間の実績を評価していきたい。点数評価についての考えは持っている。
基本的には公募でやっていきたいと考えている。

問：使用料などはどのようにして決めるのか。

また、修繕はどのような基準で市が行うのか。

答：使用料については、条例で定められており、市が決めることになるが、独自の事業については、指定管理者が決めることになる。

一件当たり 50 万円未満の修繕は、指定管理者が行う。

問：備品のチェックが十分でないため、壊れて使えない等の問題があった。今後はこういったことが起きないように体制をとっていくべきと考えるがどうか。

答：指定管理者と細部についてはこれから話し合いを行っていくので、備品の問題についてもこういったことが起きないように話し合いを行っていきたい。

議案第 62 号 総社市清音ふるさとふれあい広場等 体育施設指定管理者の指定について

～内容～

清音ふるさとふれあい広場、清音河川敷グラウンドの計 2 施設の指定管理者に特定非営利活動法人きよね夢てらすを指定しようとするもの。

～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第 70 号 平成 23 年度総社市一般会計補正予算（第 4 号）

～内容～

教育施設の耐震診断委託料、校舎増築に伴う駐輪場の移設工事費及び高梁川河川敷グラウンドの一部に芝張りを行うための経費のほか、職員の人件費の補正が主なもの。

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：「地・食べ」の食材を学校給食で使用しているが、そのためには調理員などの人員が必要と考える。なぜ、今回その予算が計上されていないのか。

答：品質が一定しない食材については調理員などの負担が増えており、人員が必要であるが、今回の補正予算での対応ということは考えていない。

問：高梁川河川敷グラウンドの芝張りは、どのように行うのか。

答：一回当たり約 500 人のボランティアで行ってもらい、計 4 回でできると考えている。
ボランティアについては、体育協会を中心にお願いしたい。

**問：吉備路マラソン大会共催負担金の増額が計上されているが、来年度からは
相応の参加費をもってそうじゃ吉備路マラソン大会を行うべきと考えるが
どうか。
また、他市のマラソン大会の参加費を参考に検討を行うべきと考えるがど
うか。**

答：そのことをしっかり考慮して来年度の予算を考えていきたい。
他市のマラソン大会の参加費を参考に、ふさわしい参加費を考えていきたい。